

治療

半月板修復など

質の高い医療を実施

半月板とは大腿骨と脛骨の間にある軟骨であり、主な役割は大腿骨から脛骨にかかる負担を軽減している。そのため、損傷すると負担が増加し関節面を保護している軟骨の変性が進み変形性膝関節症が起きる。

半月板は若年者ではスポーツなどにより無理なひねりが加わると損傷し、中高年者では半月板自体の変性が起こっているため軽微な外傷で損傷する。半月板損傷の治療は内視鏡による形成的切除が全国的に多く行われているが、半月板は一度切除してしまうと再生しなく、代用もない。そのため可能な限り半月板縫合術を行っている。

「半月板損傷を単独で起こす理由として、患者様自身の骨格、膝関節の使い方の問題（いわゆる素因）が大きく影響しています。そのため当院では適切な縫合はもちろんのことですが、その素因を解決するために術後のリハビリテーションや足底板などの装具療法も重要視しています」（鈴木航副院長）

また技術的には、血管新生により損傷部の治癒促進が期待されるフィブリンクロット法（術中自己血から作製）を行っている。

同院では半月板損傷に対して保存治療、手術治療、リハビリテーションを一貫して行っている。



鈴木航副院長

（すずき こう）獨協医科大学医学部卒。獨協医科大学越谷病院整形外科を経て2009年より函館整形外科クリニック。2016年1月副院長就任。日本整形外科学会専門医。

医療法人 函館整形外科クリニック

函館市石川町2-1115
☎0138-34-5700
<http://hakodate-seikei.com/>

